

環境科・大山研修旅行

年に一度の一泊研修旅行。衣本さんの企画で、1班のメンバーが主体となり進めてまいりましたが、42名が参加され、無事終了いたしました。皆様のご協力に感謝いたします。

日 程: 2012年11月1日(木)～2日(金)

研修内容:

- 1日目 (1) 奥大山「天然水の森」自然観察
(2) サントリー「奥大山ブナの森工場」施設見学
(3) 休暇村「奥大山」での宿泊、夕食、懇親会
- 2日目 (1) 天候の悪化と体力とを勘案し急きょ2つのコースを設定しました。
(A) 大山滝コース: 一向平(いっこうがなる)～大山滝 紅葉のブナ林トレッキング(25名)
(B) 巨木ツアーコース: 大イチョウ、大スギ、大シイなどの巨木をバスで巡る(17名)
(2) 大山環状道路・鍵掛峠での眺望を堪能し記念写真
(3) 「とっとり花回廊」日本最大級のフラワーパーク見学

>>>>>>> 1日目 <<<<<<<<

交通手段 近畿観光バスにて8:00 駅前第4ビル前出発

出発前の車内



立ち寄り先

加西 SA 9:10～9:25 …晴天、自衛隊車両とお隣あわせ



蒜山 SA 10:50～11:05 …霧雨に天気は急変、ショッピングも楽しみの一つ



鏡ヶ成到着 11:30 休暇村「奥大山」は雨 森の番人・佐野さん



現地ガイド、河合さん・西村さん



お昼の弁当はバスの中で



ロビーで雨具の装備



奥大山「天然水の森」・・・3班に分かれて自然観察 12:30～15:10

森の入口までバス



ストレッチ体操



一般の入山者制限用ゲート



現地ガイド西村さんの説明



ゲートをくぐり「森」の外へ



バスが待機、天気は回復



サントリーの奥大山「天然水の森」で出会った植物たちの1部ですが記録しました。

ツタウルシ(ミズナラの木に付く)



コシアブラ(5枚で1つの葉)



コシアブラの若木多数



高所に熊の爪あと



オオナルコユリの実



ミズナラ (樹齢 400 年)



[説明] 大きなミズナラは水辺の際に立つがゆえに伐採から守られた。
ブナの生き残り術・・・数年に1度しか実を付けずしかも大量に実を付ける。

トチバニンジン



カラマツ(境界林として)



オオカメノキ



ハイヌツゲ(イヌツゲでない意)



烏ヶ山と大山遠望



コミネカエデ



コハウチワカエデ



ツルアウドウシ



ツルアジサイ



庭に植えられる万両、千両に対してカラタチバナを100両ヤブコウジを10両ツルアウドウシを1両と呼ぶ。
ツルアジサイは落花性のツル植物でイワガラミと生態分布は似るがツルアジサイの葉は細かい単鋸歯で、
装飾花の萼片は3～4枚。また上品な感じ。

土塁



ブナの倒木更新



ツキヨタケ



土塁は 110 年前軍馬を通すために造られた。

ブナの倒木更新・・・倒れた木に小さな幼木が生えている。

ブナの生き残り術・・・数年に1度しか実を付けない。しかも大量に実を付ける。

ツキヨタケはブナの倒木や立ち枯れによく生える。毒性は強く暗い夜に光るらしい。

黒ボク (木々の下の黒い土)



ネマガリタケ (新芽はおいしい)



テツカエデ (材が黒いので)



黒ボク土は火山灰が積もって出来た火山灰土で、腐植が多いために団粒を形成し、**通気性、排水性、保水性**といった物理性が良く、作物の栽培に適しているように見えます。ところが、黒ボク土には大きな欠点があります。**黒ボク土に多く含まれている活性アルミニウムと粘土のアロフェンという鉱物が、リン酸と強力に結合し、一度結合したリン酸を容易には放しません。リン酸はもともと土と強く結合する性質がありますが、黒ボク土の場合は他の土に比べて特に強くリン酸と結合します。このため、黒ボク土では作物がリン酸欠乏になって、良く育たないのです**(土と人のきずな/新風舎刊より)

サントリー「奥大山ブナの森工場」見学 15:30 ~ 16:35

到着 15:25



説明会風景



説明会風景 (足元もみてね)



雪室は冷房や冷熱源に利用



試飲:「奥大山」とフランスの「Vittel」硬度 315 飲み比べ



山科、阿蘇に続く第3の天然水工場。製品名は「奥大山」硬度20で柔らかい軟水。この工場はペットボトル製造とボトリングを行い、1分間に2ボトルで30本、500mで600本製造可能である。「天然水の森奥大山」は水源涵養エリアとして359haの広さがある。

休暇村「奥大山」 到着(16:50) バス内で佐野さんの説明がありその後でチェックイン

お風呂



お土産コーナー



夕食、宴会

2階の大広間での食事と懇親の夕べ。マジック、コーラス、ネタ話、小話と楽しいひと時でした。

乾杯!



食事と歓談風景



お隣同士でカンパイ



こちらでもカンパイ



おひとついかが?



マジックは石橋さん



何とランプが?



私はだまされません!



はい！ご覧のとおり



コーラスは2班のみなさんで



加藤さん独演会



班毎の懇親会 部屋に戻っての懇親はかなりの盛り上がりでした。明日は大丈夫かな？

1班



2班



3班



4班



1・2班



1・2班



>>>>>>> 2日目 <<<<<<<<

翌朝 夜来の風雨は上がったけれど...

宿舎の外は雨上がり



青空も見えたが...



朝食は7時からバイキング



出発前の車内...昨夜のお疲れは？



烏ヶ山も初冠雪



出発 8:30 鏡ヶ成から一向平へそして日本 100 名滝に選ばれた大山滝へ。また急きょ巨木コースも設定。

紅葉の中を一向平へ



一向平到着(9:05)



昼食用のそば打ってます



一向平にて



大山滝コース 9:30 ~ 12:35 参加 25 名 2 班体制。佐野さんと現地ガイド、観光課 1 名同行。

出発前の説明



さあ皆でストレッチ



出発(9:35)



現地ガイドによる説明



ロープを伝い急な階段



階段の登りも



大山滝吊橋にて



吊橋を渡る



旦那小屋跡



サワグルミの巨木幹周り 4.8m



大山滝到着 (11:10)



ブナの幹を流れる雨水



日本の環境省が調査上での巨樹・巨木を定義しており、地上から約 1.3m の位置での幹周が 3m 以上の木を「巨樹・巨木」と定めている。

ブナは降る雨を小さな葉で受け小枝を伝い、幹を伝い自分の根にしっかり届ける戦略だとか。

巨木ツアーコース 参加 17 名(別行動)

11 月 1 日の奥大山“天然水の森”自然観察と保全を視察したが、2 日目の大山滝トレッキングの行程を心配した 17 名の科員は別行動となった。このようなこともあろうかと“巨木ツアー”が計画されていたことには驚きであった。

巨木は「古布庄(こうのしょう)の大杉」「転法輪寺の大イチョウ」「伯耆の大シイ」などを見物し、最後に“壮麗な龍の彫刻”がある神崎神社を訪れた。



樹齢 800 年と推定される古布庄(こうのしょう)の大杉



“ 壮麗な龍の彫刻 ” がある神崎神社

昼食 (12:45) 一向平の食堂でソバとおこわ・とちもちの昼食はおいしく好評でした。

昼食風景

お土産のとちもちとおこわ



鍵掛峠 (14:30) < 目の前に迫る大山の南壁はダイナミック。目の前に迫る大山の南壁はダイナミック。春の新緑から秋の紅葉まで、四季折々の大山の雄大な姿を楽しむことができます。 >

バスの外は寒くなりましたが、雄大な景色に満足でした



大山をバックに記念写真



「とっとり花回廊」 (15:10 ~ 16:55) 日本最大級のフラワーパークは秋の装いで歓迎してくれました。

記念写真



ユリノキの紅葉



ビュースポット・大山とサルビア



帰途 途中、勝央 SA(18:05)(トイレ休憩) 加西 SA(18:55 ~ 19:45)(夕食) 大阪着(20:45)

発表



途中、一ノ瀬代表から新しい班構成が発表されました。新しい気持ちで再スタートです。

加西 SA で最後の夕食



感想

本当に楽しい2日間でした。大山の周りにこんなにいろんな場所があるのかと驚きました。そして、芸達者な方々の懇親会。日頃味わえない環境科の側面を見せていただきました。ただ、気まぐれな天候に幹事特に衣本さんははらはらでしたが、皆様のご協力で無事この研修が終了されたことに感謝しております。



写真、記録、編集 / 北仲 世話役 / 衣本 企画 / 1班